

よくできている=◎ ほぼ出来ている=○ 努力が必要=△

内 容			
1	施設・設備（園舎・園庭）の整備と衛生管理		○
2	子どもの意欲を高めるような遊び道具（内外）の準備		○
3	子どもの発達、興味に沿った保育の計画・実施・評価反省の実施		◎
【考察】保育士が毎月計画書の作成をし、実施後、評価反省の提出ができている。			
4	子ども理解と 受容	(1) 子どものサインや思いや気持ちを大切にされた保育の実施	○
		(2) 分かり易い言葉遣い・声の大きさ・話し方	○
		(3) 「早くしなさい」、「だめ」等制止・禁止の言葉の不使用	○
		(4) 安心できる雰囲気作り・「やって、できない」という子どもへの対応	◎
		(5) 遊びに入れられない子どもや全体の安全に気を配っている	○
【考察】友だちや保育士との関わり、保育士を頼ってくる時の対応の仕方については、十分気を配り子どもの気持ちに寄り添い保育に取り組んでいる。しかし、不十分な場合には子どもへの理解ができるよう指導している。			
5	人間関係を 育てる保育	(1) 子ども同士の関係を良くするような言葉かけ	◎
		(2) けんかの場面では状況を適切にとらえ双方の思いを聞き丁寧な対応	◎
		(3) 年齢に応じた社会的ルールの定着	○
		(4) 子どもが保育者の手伝いをしたり、友だちを助けたり、協力し合う環境づくり	◎
【考察】発話がまだ十分でない子ども達には、気持ちを汲み取り代弁し仲良く生活できるよう対応しているが、基本的なルール等については園だより、クラスだより等を活用して保護者の理解や協力も要請している。			
6	突発的な状況への対応と保育士も共に子どもと一緒に楽しんでいる		○
	【考察】事故や怪我など未然防止のため安全点検を十分に行うと共に、保育士は常に子どもが見える位置に立ち、周辺の安全面にも十分配慮を行うようにしている。		
7	職員間の連携	(1) 保育者（保育士、栄養士、調理師）間の信頼関係	○
		(2) 子どもと保育についての話し合いと情報の共有	○
		(3) それぞれの役割の自覚と適切な保育	○
【考察】職員同士は常に同じ活動で連携がとれている。 月例の保育会において活動内容や子どもについての情報交換の場を設けるようにした。			
8	保護者・地域との 連携	保護者の思いを理解し、保護者や地域の方々へ気持ちのよい挨拶や声かけに積極的に努めている	◎
【考察】朝夕の送迎の時に保護者や祖父母の方々へ挨拶を心掛けるとともに話をよく聞き、思いを汲み取るように努めている。要望等については、保育会で話し合い、保護者に返答するようにしている。			